

## タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 令和5年2月12日(日)午前10時～11時30分

場 所 亀久保西分館（亀久保西町会）

参加者 26人



### 主な意見等

参加者 西八丁緑地に掲示されている注意書きの看板が古く、緑地保護地区指定標識の表記が大井町のままになっているので、手を加えていただけませんか。また、西八丁緑地の知名度が低いので、PRして市民になじみのある場所にしてもらいたいです。

市 長 西八丁緑地に限らず、合併の際に市内に掲示されている看板などは、数年かけて既存の看板の上にシールを貼るなど費用をかけない工夫をして旧市町名からふじみ野市へと差し替える対応を行いました。シールがはがれてしまった箇所は、既に直させていただきました。看板に関しましては、いきなりお金をかけて一新することは難しいので、掃除をさせていただきました。

参加者 川越市との市境にある三ヶ島街道でふじみ野市の水道工事を行いました。舗装する時期に、通りにあるマンホールの周りが欠けているので一緒に補修してもらいたいとお願いしたところ「これは川越市のマンホールなのでふじみ野市では補修しません」と言われました。でしたら川越市と話し合っ、一緒に補修したらどうですかと話をしたところ、ふじみ野市から川越市に電話をしていただいて「それでは綺麗にします」と返事をいただきました。自衛隊大井通信所側の道路は、

川越市が工事を行っています。上下水道の工事をし、大通りの道路を壊して、再度補修した部分の舗装の厚さは5 cm程度で、これまでは約20cmの厚みがあったため、段差ができてしまい車が通るときの振動が大きいです。現在は、数十mの区間に砂利で舗装がしてありますが、そこに穴が一つ空いていまして、直していただきたいです。この話をお伝えしたときに、本舗装しますと言われたのですが、舗装をしたのは5 cmだけでした。

市長 行政境に関しましては、都市下水路の管理はどちらが行うかなど、お互いに負担割合を決めて負担し合っています。例えば、現在新河岸川の最下流部に川越市と共同で池を作っているのですが、工事はふじみ野市が中心になって、川越市には負担割合のお金を出していただくという対応をしています。行政境は、入り組んでいて分け目が難しいものです。今のお話にもありましたように、川越市のマンホールがあって、水道工事はふじみ野市というように、複雑に入り組んでいます。工事するたびに、剥がしては仮舗装をして、新たな復旧を進めていくうちに他の部分を掘らないといけなくなる場合もあり、中々直してくれないという話に繋がっていつてしまうこともありますので、この課題は道路課・上下水道課と調整し、川越市さんと今までどのように進めてきたのか確認していきます。

参加者 今後、富家病院から三芳インターのほうへ抜け道を作る予定があるのですか。

市長 富家病院からの抜け道を作る予定はありません。

参加者 大型の車が全て、関越の下の十字路を右に曲がっています。

市長 スマートインターになっただけでも、交通量が増えています。便利になった分、出る影響も抑えられるようにしていかなければならないので、その課題も含めて検討していきます。

参加者 亀久保西分館の裏にあるお宅の木が分館の方や、分館と反対側の民家の方まで伸びていまして、木の所有者に対処してほしいと働きかけて

いるのですが、一向に解決しません。

市長 所有者に手紙などでお伝えしていますが返事がなく、コンタクトが取れない状況です。分館に被害が及んでいる部分については、法的に処置がとれるということで、市で伐採を行いました。公共施設における木の問題については、連絡いただければ市の方から働きかけます。本来は行政が木の所有者に伐採してもらうようお願いをするのですが、どうしても切ってもらえない場合は「切らせていただいてもいいですか」と確認して切ることもあります。本来であれば、市役所の職員や委託業者が切りに来ることは無いのですが、危ない場合は市が伐採するということがあります。この問題に関しては持ち帰り、今後も対応していきたいと思います。

参加者 分館を使う立場としては、皆が使う分館なので対応してくださいとお願いできるのですが、木の問題が個人間になった場合はどのようにすればよろしいですか。

市長 本当に個人的な話、民間同士のお話になると、木を切ってもらえないとなった場合、極端な話ですと裁判につながってしまうこともあります。できれば地元で解決していきたいですし、行政としても、いろいろな影響が出ているのであれば、改めてお願いしていくという形にはできると思います。

参加者 ビバホームの通りに「自転車は左側へ」という標識が出ていたので、その通りに進んでいたら、通り沿いの住宅の木が塀からはみ出ていました。自転車だと頭が木の枝についてしまうので、この木についても、刈っていただきたいです。自転車だと心配になる程度です。

市長 改めて当該箇所を確認し、剪定のお願いを出したいと思います。

参加者 上福岡駅近くの開かない踏切についてお考えを聞きたいです。

市長 副都心線や有楽町線が乗り入れて本数が増えた関係で、踏切が閉まる回数が増え、多いときは5本電車が通るなど、長く閉まることもあり

ます。昭和 50～60 年代当時の行政としては、そこに力を入れることがあまりなく、県としても優先順位が低かったと思います。駅前の通りを作る際、国から 3 分の 2 の補助金が出ていた当時に対策を行えていればよかったのですが、それも叶わず現在に至っている状態です。合併以前に地下道を作ろうという動きがありました。その時は、地下道を作る際に、道路構造令という法令を少し変えてまで短い距離の傾斜で作れるような進め方をしてきた時代もありました。ところが、このように大きなプロジェクトに時間をかけて進めていく中で、当時は 60 億円以上かかると言われていました。現在では、100 億円かけても実現できるか分からない状況で、それだけのお金をかけ、他のことを後回しにすることは難しく、今のふじみ野市の基金という蓄えでは到底追いつきません。これからは、運転免許証の取得率も減少し、ふじみ野市でも人口減少が始まります。国としては現在、総理大臣が異次元の少子化対策と言っていますが、その政策が動き出したとしても人口が増えるのは 50 年、60 年先と言われています。現在の選択肢としましては、将来を見据えると、巨額なお金をかけて踏切対策を進めていくというのは、決断できません。

参加者 ふじみ野市の西側に公園が無く、孫が遊びに来て遊び場がありません。

市長 市内には住宅開発で提供された公園も含めると、160 カ所ほどあります。これは本当に小さな公園から、特殊公園といわれる大きな公園もあります。合併以前の旧大井町でも、区画整理を行って作った公園や、小さな住宅開発で開発事業者から提供された提供公園、また、緑地という形でスペースを確保していました。公園の整備というのは、必要なものでありますし、災害時の法的な空き地というのは避難場所にもなりますが、新たに公園用の土地を確保して作ることが可能かと問われると、現状は難しいです。

参加者 ため池を作った際に、そのスペースを公園にすることはできなかったのですか。

市長 イオン大井店の隣にある東久保中央公園の下部分や、弁天の森付近に

ある親水公園の下にも調整池があるのですが、人工地盤の下にある堆積物の処理は難しく、整備されてからほとんど処理が行われていません。現在、調整池の地面を利用して、スケートボードや自転車の曲乗りができるような場所が一か所あります。しかし、それは本来の調整池という目的以外の利用になっており、市民の方の自主管理の下で行政財産の使用許可を与えて、使用している場所になります。公園を確保していくにはお金がかかります。これまでの歴史の中でどうしてできなかったのだろうということも事実ですので、今後は検討していきたいと思います。調整池を作る際に、池を作るための面積を確保することが困難であったということもご理解していただけるとありがたいです。何か大きな整備をする際、一緒にスペースを確保するというのも一つの方策ですし、近くに余裕を持った用地を確保し、同時に整備していくという進め方もありますので、検討させていただきます。

参加者 公共下水道の整備についてお話を伺いたいです。

市長 合併以前の上福岡市も大井町も、市内全域に公共下水道を整備する公共下水道計画・生活排水計画を作っていましたが、実際は整備が進んでいない状況でした。市街化区域には都市計画税がかかりますが、都市計画税がかからない地域に公共下水道整備を進めると、受益者負担金は市街化区域よりも若干プラスになっています。それを抑えながら整備を進めている状況ですが、アンケートを取った結果、市街化調整区域も公共下水道を入れてほしいという声が多かったので、私が市長になってから、市街化調整区域も整備を進めていくという判断に至りました。今までの行政は、市街化調整区域にどれだけお金がかかって、負担を抑えるためにどのような方策がとれるかということまで細かく進めていませんでした。市街化調整区域の公共下水道をいずれ整備するといっても、見通しが立たないならやるに値しないと思いましたので、アンケートを取った上で公共下水道整備に進もうと考えました。ただし、農家など敷地の広い場所では受益者負担の金額が大きくなってしまいますので、その延納や、一部を宅地と農地に分けて緩和させるといった方策をとりながら、市街化調整区域の整備に着手しました。他市でも市街化調整区域に公共下水道を入れるという計画を立てながら、実際は整備を進めていない例がたくさんあります。市民の皆さま

からのアンケートでそうしてほしい、というご意見を頂いた上で、我々も市街化調整区域について進めていくという判断に至りました。時間はかかりますが、現在先行して、川崎、駒林、苗間がスタートしています。このまま鋭意進めさせていただきたいと思います。

参加者 サッカークラブ(大井西中学校)の隣の歩道(一方通行)の整備がされていません。危険なので、柵を作ってもらいたいのですが、いつ頃対応していただけますか。

市長 一部はフェンスを作ったのですが、地権者の方の関係で、その先にフェンスを作ることが難しい状況になっています。

参加者 防災行政無線で尋ね人のお知らせはするのに、尋ね人が見つかったという放送が来ないのはなぜですか。

市長 防災放送無線の頻度はなるべく少なくしないといけません。「尋ね人を探しています」「尋ね人が見つかりました」という放送ばかり流れると「また尋ね人か」となり、本当に危険な時に役立てなくなります。放送が繰り返さなかったら「見つかった」と判断していただきたいです。

参加者 三井調整池の広場は開放しないのでしょうか。

市長 三井調整池の広場に関しましては、今後の課題として持ち帰らせていただきます。

参加者 令和3年4月末頃、市役所に1-38-8号線の側溝清掃をお願いしたら「距離が長いので、一回ではできません」と言われました。11月にもう一度お話ししたら「担当に伝えます」と言われました。令和4年8月8日にもう一度お伝えしましたが、対応してくれないのはなぜでしょうか。

関越の所沢13番のトンネルの中が、雨が降ると水浸しになってしまっています。本来そこは通学路ではないのですが、中学生が近道で使っていることが多い場所です。去年の年末に、4カ所のマスが清掃してあ

りましたが、この前の雪の日に水浸しになっていたので、対応してください。

三角無線から公民館にかけて碎石舗装をしていただいたのですが、その部分に何か所か穴が開いてしまっているのも、また舗装していただきたいです。この15軒くらいの地域の段差が大きいので、車が通りづらいです。建築をする際に、一緒に確認して切り下げをするなど、指導していただけないでしょうか。

亀久保自主防災をやっているのですが、4カ所に設置してある自主防災で持っている消火器のポール部分が古くなって錆びてしまっているのも、市で処分してほしいです。処分したら新しいものをつけたいと考えています。

市長 この件に関しましては、持ち帰って検討させていただきます。  
本来民間で所有している消火器等の撤去は行政ではできませんが、撤去した後に防災として何かをしようとしているのであれば、支援できる可能性があるのも、持ち帰って至急確認します。

タウンミーティング後に追加された意見

参加者 三角公園の中にも、大井町の部分を隠したテープがはがれたままの看板がありました。管理している公園はたくさんあると思いますが、計画的に看板等の更新をお願いします。

(担当課) 三角公園の看板につきましては、西八丁緑地と同様にテープを貼り替え、旧町名からふじみ野市へと差し替える等の対応をいたしました。また、劣化したペットの飼主マナーの看板は撤去いたしました。他の公園につきましても看板の確認を順次行うとともに、劣化等を発見次第、更新を行ってまいります。